

決算説明会

2023年3月期第2四半期決算の概要
2023年3月期業績見通し

株式会社 **アールス物流**

(東証プライム 9055)

2022年11月7日

代表取締役
社長執行役員

臼居 賢

- 1. 2023年3月期第2四半期決算の概要**
2. 2023年3月期業績見通し
3. 2023年3月期第2四半期のトピックス



経済環境

世界各地でのコロナ感染対策の継続、世界的な高インフレに対応した金融引き締め、中国ロックダウン、ロシア・ウクライナ情勢などの影響で成長は鈍化。

電子部品関連

半導体・電子部品は堅調維持。

自動車関連を中心に、部品不足により生産調整が発生。

物流業界ではサプライチェーンの混乱が続き、航空・海上輸送の正常化が遅れ、緊急航空輸送は高水準継続。

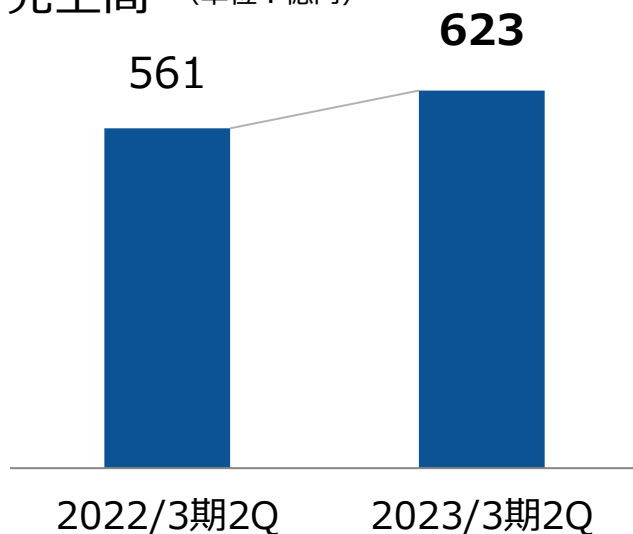
消費物流

コロナ影響に伴う宅配・通販需要は一巡し、横ばい水準継続。

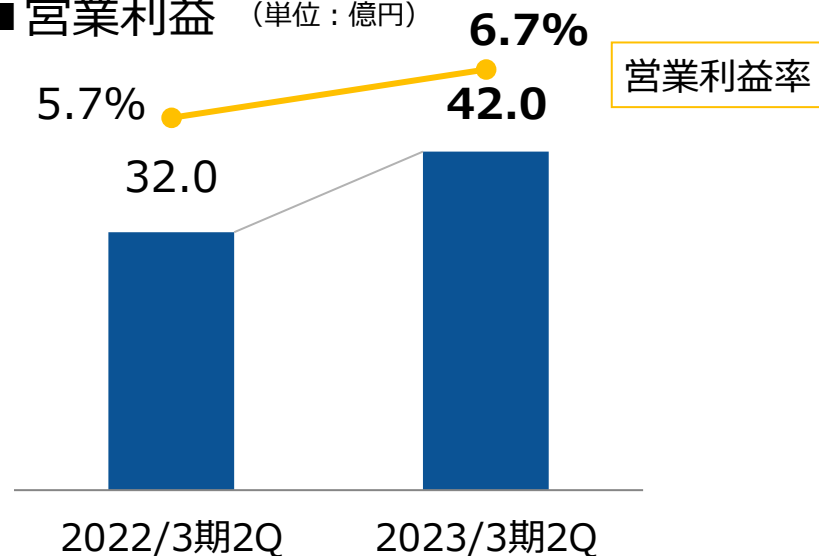
輸出入関連の増、円安など追い風もあり過去最高を更新

(単位:百万円)	2022/3期 2Q実績	2023/3期 2Q		
		実績	増減率 (対前期)	公表値
売上高	56,130	62,381	11.1%	61,000
営業利益	3,200	4,204	31.4%	3,350
経常利益	2,958	5,094	72.2%	3,650
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,710	2,975	74.0%	2,050

■ 売上高 (単位: 億円)

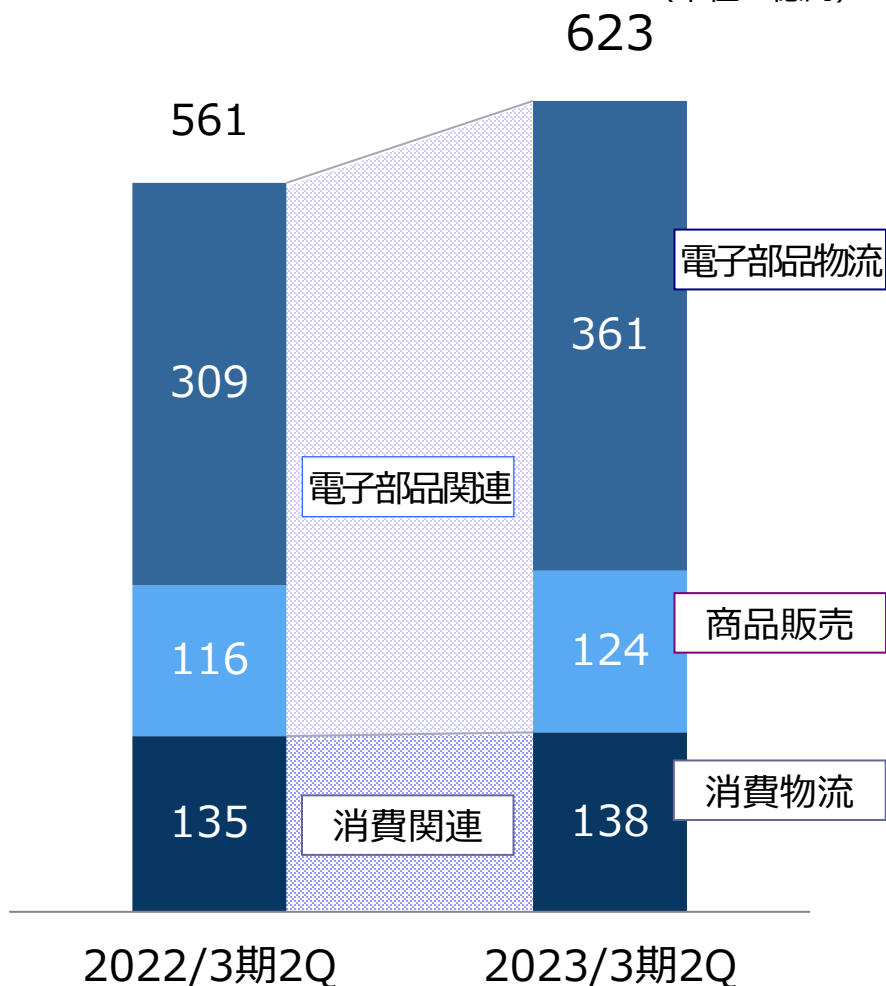


■ 営業利益 (単位: 億円)



■ セグメント別売上高

(単位：億円)



※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です

前期比 **+62億円 (+11.1%)**

■ 電子部品物流 +52 億円

既存ビジネスの荷動き減少の一方、
 拡販による増加、緊急航空輸送が
 高水準で継続、円安の影響もあり増。

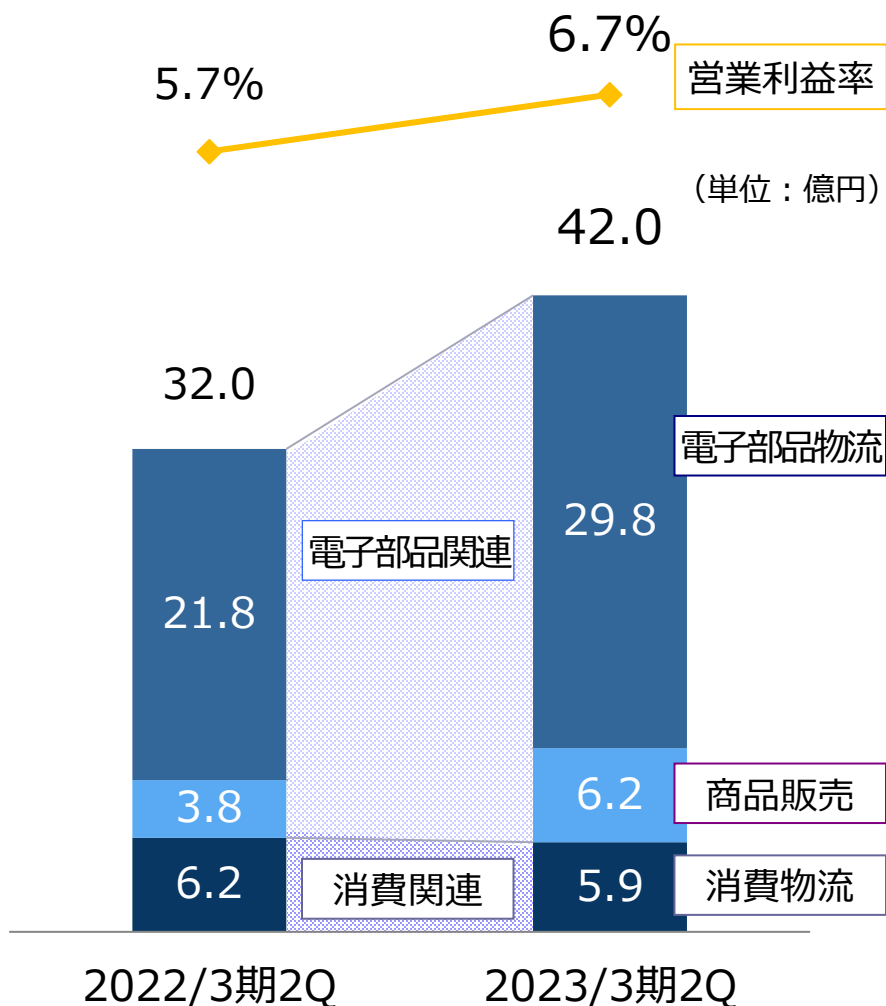
■ 商品販売 + 7 億円

情報通信機器関連で主に中国向け販売
 が増加、円安の影響もあり増。

■ 消費物流 + 2 億円

前期より稼働したメディカル関連が
 寄与。コロナに伴う宅配・通販の需要
 は一巡し、横ばい水準継続。

■ セグメント別営業利益



前期比 **+10.0 億円 (+31.4%)**

■ 電子部品物流 + 7.9 億円

国内は荷動き停滞による運送事業の効率悪化により減。緊急航空輸送の継続、拡販効果、為替の円安もあり増。

■ 商品販売 + 2.3 億円

増収効果による増、為替の円安もあり増。

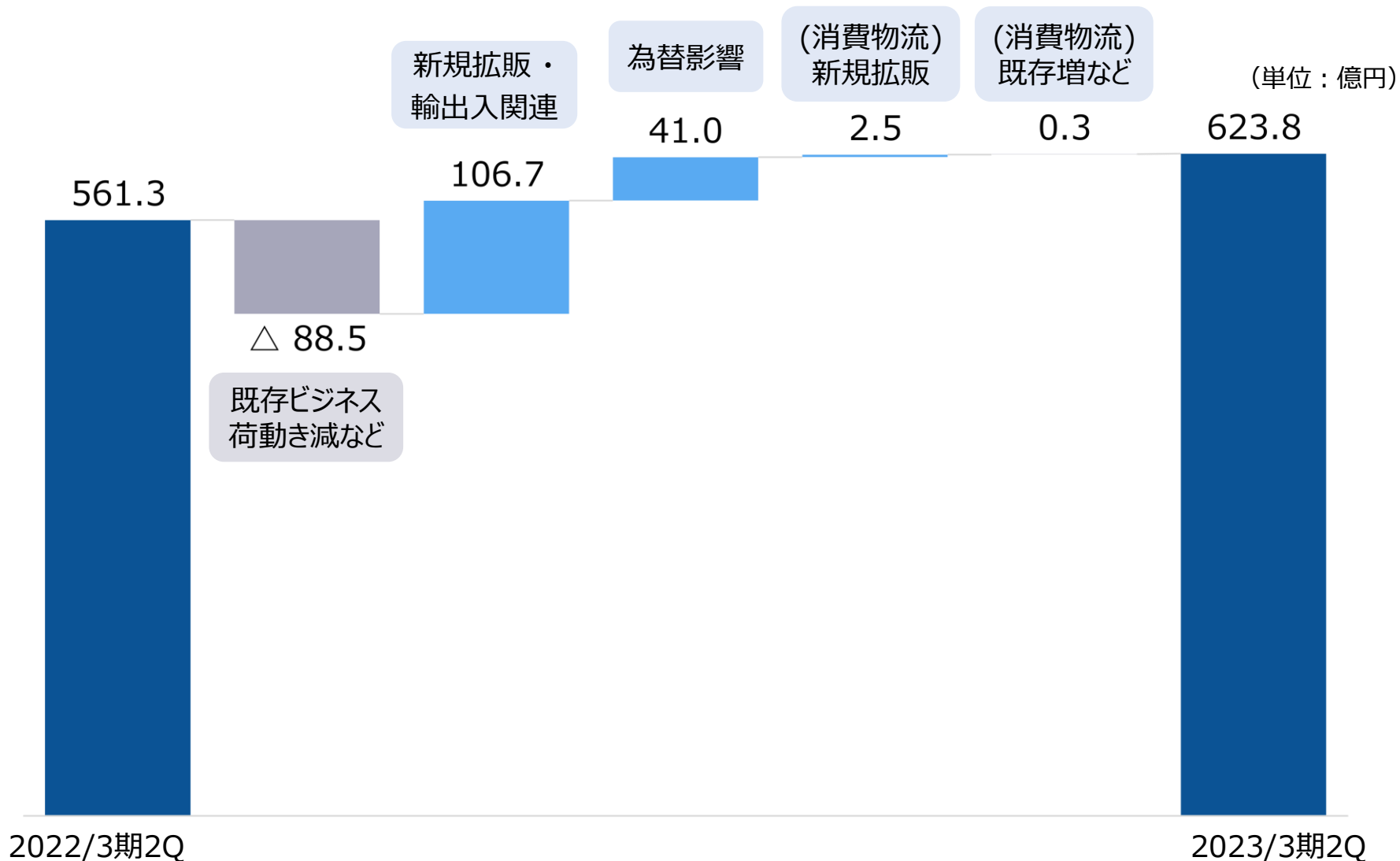
■ 消費物流 △ 0.2 億円

倉庫修繕費や減価償却費、新拠点設立費用などの増加で減。

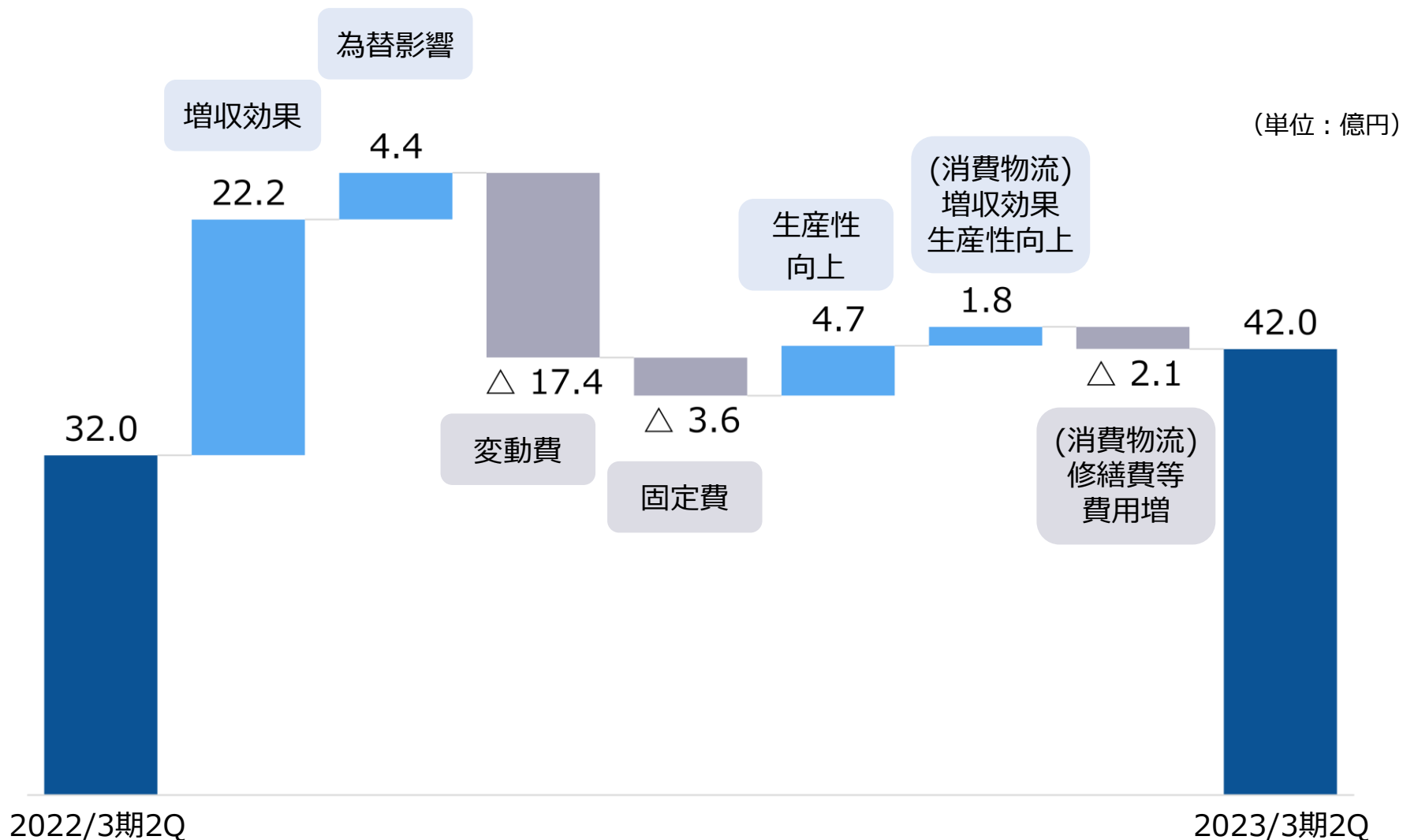
※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です



既存ビジネスの減、拡販、輸出入関連の増、円安影響などで増収



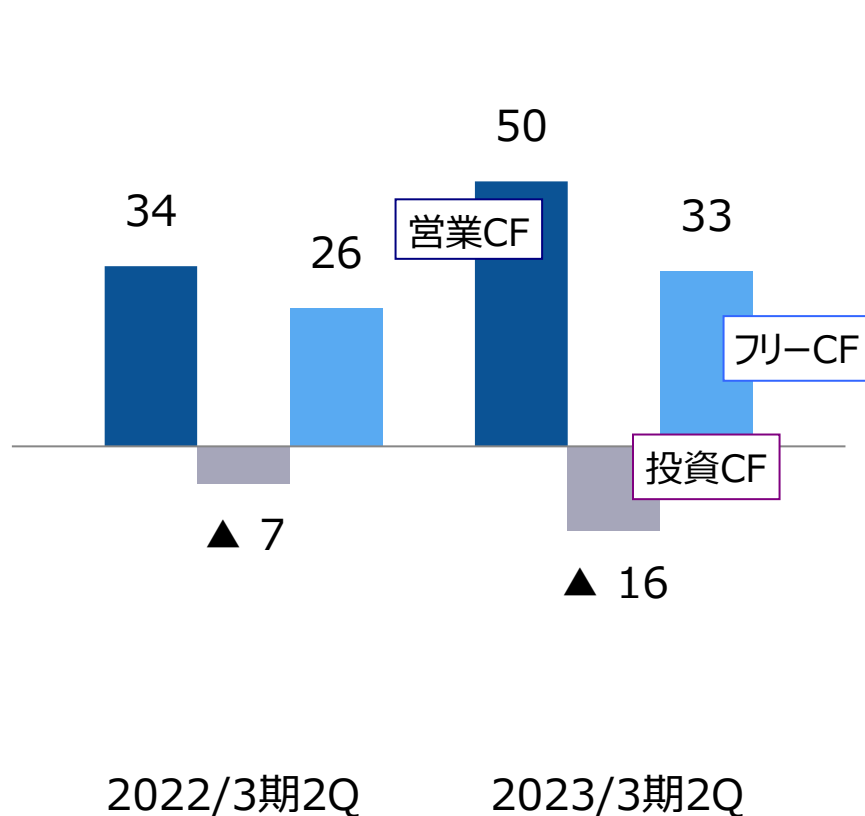
拡販、輸出入関連の増などの増収効果、円安影響などもあり増益



戦略投資のための資金調達実行

■ キャッシュフロー

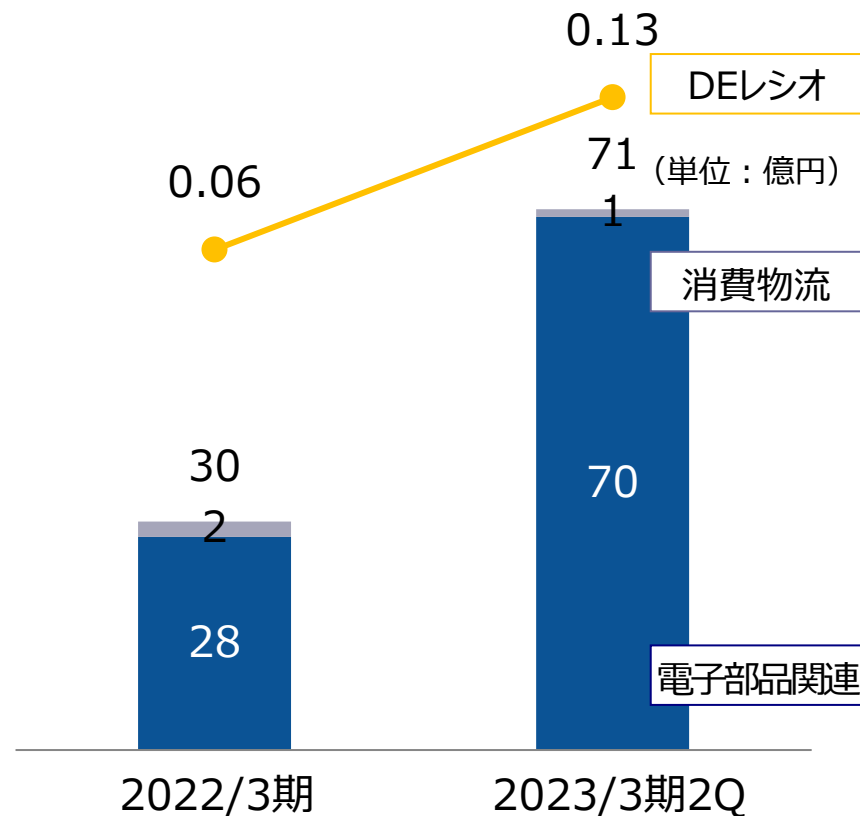
(単位：億円)



営業CF:利益増などによる増。
投資CF:新倉庫建設などの支出の増。

■ 有利子負債残高

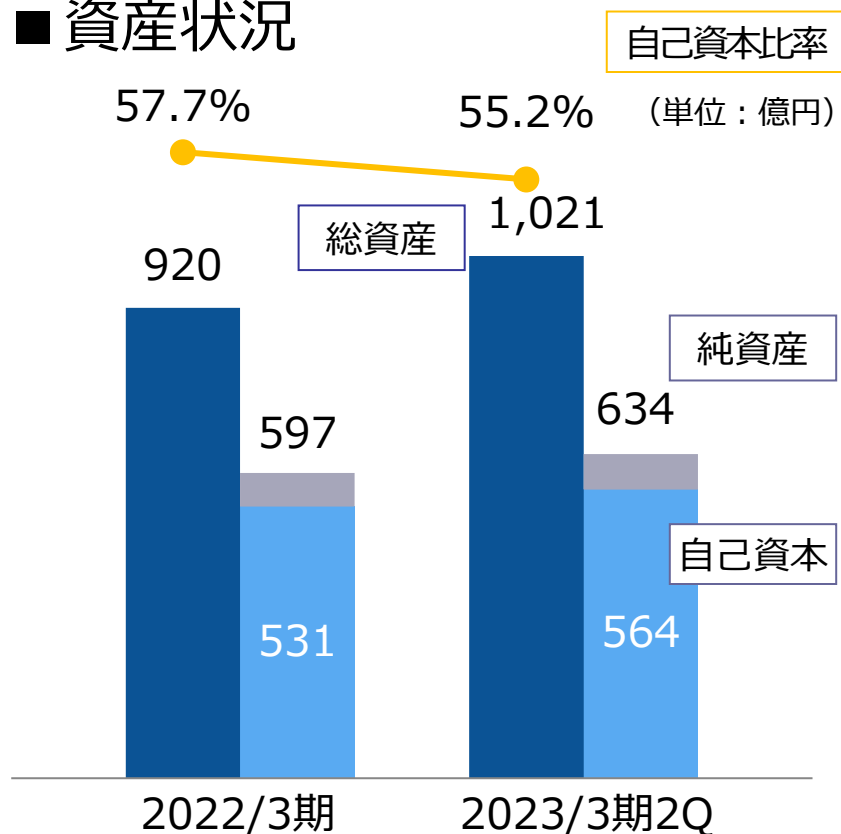
(単位：億円)



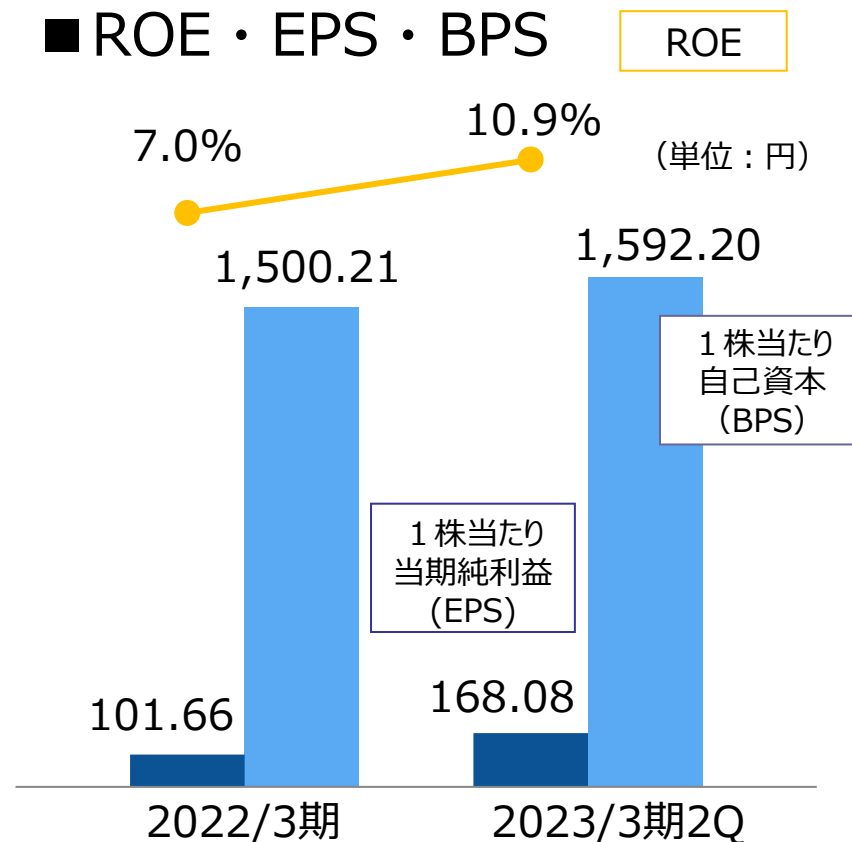
借入金：投資関連資金の借入増。
DEレシオ：借入金増加により上昇。

資本効率改善によりROEは上昇

■ 資産状況



■ ROE・EPS・BPS



総資産: 現預金や売掛金増による増。
自己資本比率: 自己資本金額は増加したが、総資産増により低下。

親会社株主に帰属する当期純利益の増に伴い、EPS +66.41円、ROE +3.9p。
※2023/3期2QのEPSとROEは2倍し年率換算しています

1. 2023年3月期第2四半期決算の概要
- 2. 2023年3月期業績見通し**
3. 2023年3月期第2四半期のトピックス



経済環境

世界的な高インフレと金融引き締めによる景気後退、大幅な円安進行、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米中対立など不透明要因が多い。

電子部品関連

半導体など部品不足は徐々に解消に向かうが、車載・産機向け等の不足は継続。

自動車関連の生産は回復傾向も力強さに欠ける。

電子機器の需要鈍化に伴う生産減少、貨物量の減少が懸念材料。

物流業界では海上輸送は正常化の見通し。航空輸送は足元でスペースひっ迫継続。市況の緩和を見込むが不透明感が強い。

消費物流

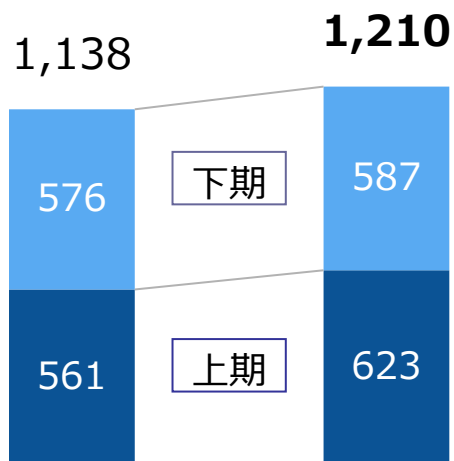
宅配・通販需要は、横ばい水準継続を予想。

モノ消費からサービス消費へのシフト、巣ごもり需要の減少が懸念材料。

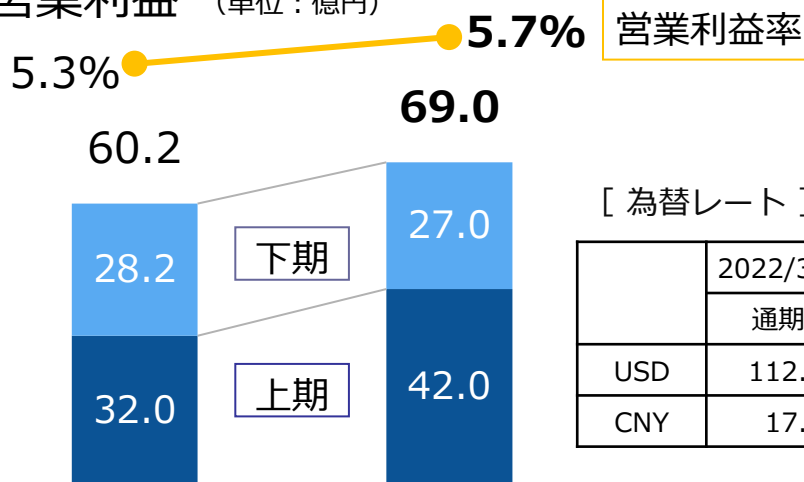
下期の事業環境は厳しいが、通期は過去最高の見通し

(単位:百万円)	2022/3期		2023/3期			
	実績	利益率	期初公表値	修正公表値	利益率	増減率 (対前期)
売上高	113,814	-	115,000	121,000	-	+ 6.3 %
営業利益	6,021	5.3 %	5,800	6,900	5.7 %	+14.6 %
経常利益	6,166	5.4 %	5,550	7,300	6.0 %	+18.4 %
親会社株主に帰属する当期純利益	3,598	3.2 %	3,250	4,200	3.5 %	+16.7 %

■ 売上高 (単位: 億円)



■ 営業利益 (単位: 億円)



[為替レート] (単位: 円)

	2022/3期	2023/3期	
	通期	上期	下期
USD	112.37	133.97	135.00
CNY	17.51	19.88	19.50

2022/3期

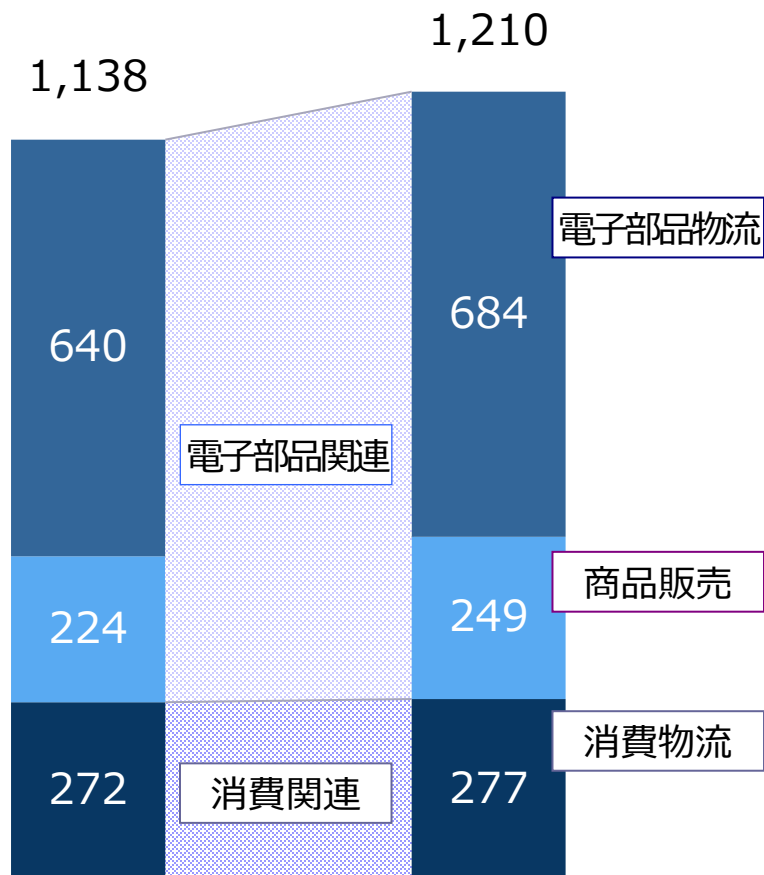
2023/3期見通し

2022/3期

2023/3期見通し

■ セグメント別売上高

(単位：億円)



前期比 **+71 億円 (+6.3%)**

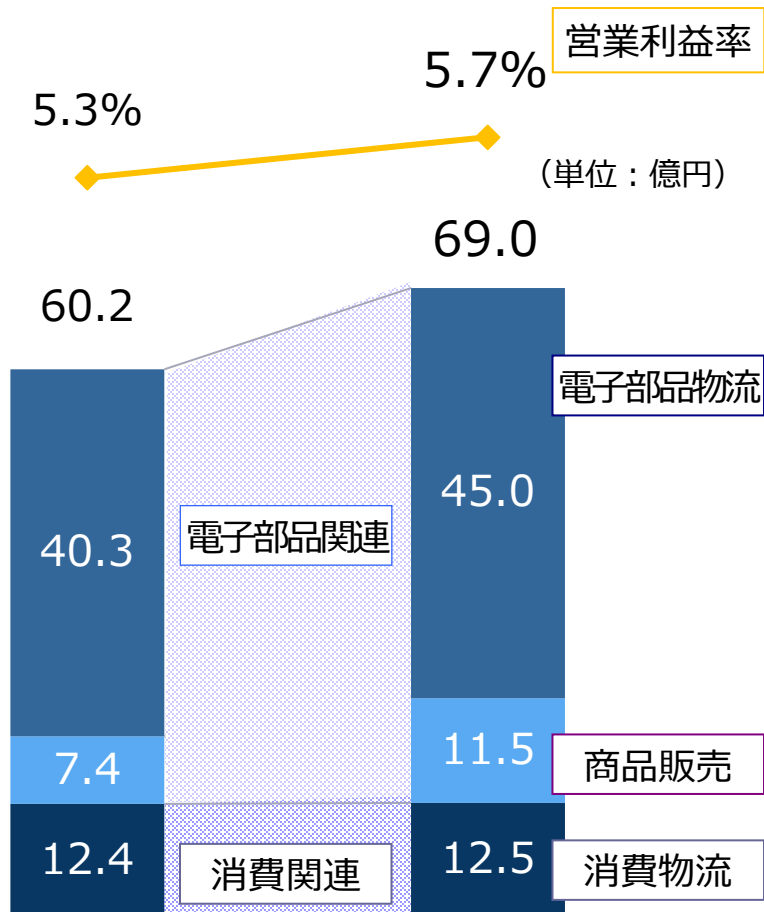
- 電子部品物流** + 43 億円
 3Q以降厳しいが、拡販、輸出入事業、円安などの影響で増。
- 商品販売** + 24 億円
 車載関連新規拡販、円安の影響もあり増。
- 消費物流** + 4 億円
 宅配・通販需要は横ばい継続、商品センター業務等の拡販で増。

2022/3期

2023/3期見通し

※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です

■ セグメント別営業利益



前期比 **+8.7 億円 (+14.6%)**

■ 電子部品物流 + 4.7 億円
修繕費など固定費増加するが、拡販などの増収効果や為替の円安もあり増。

■ 商品販売 + 4.0 億円
増収効果による増、為替の円安もあり増。

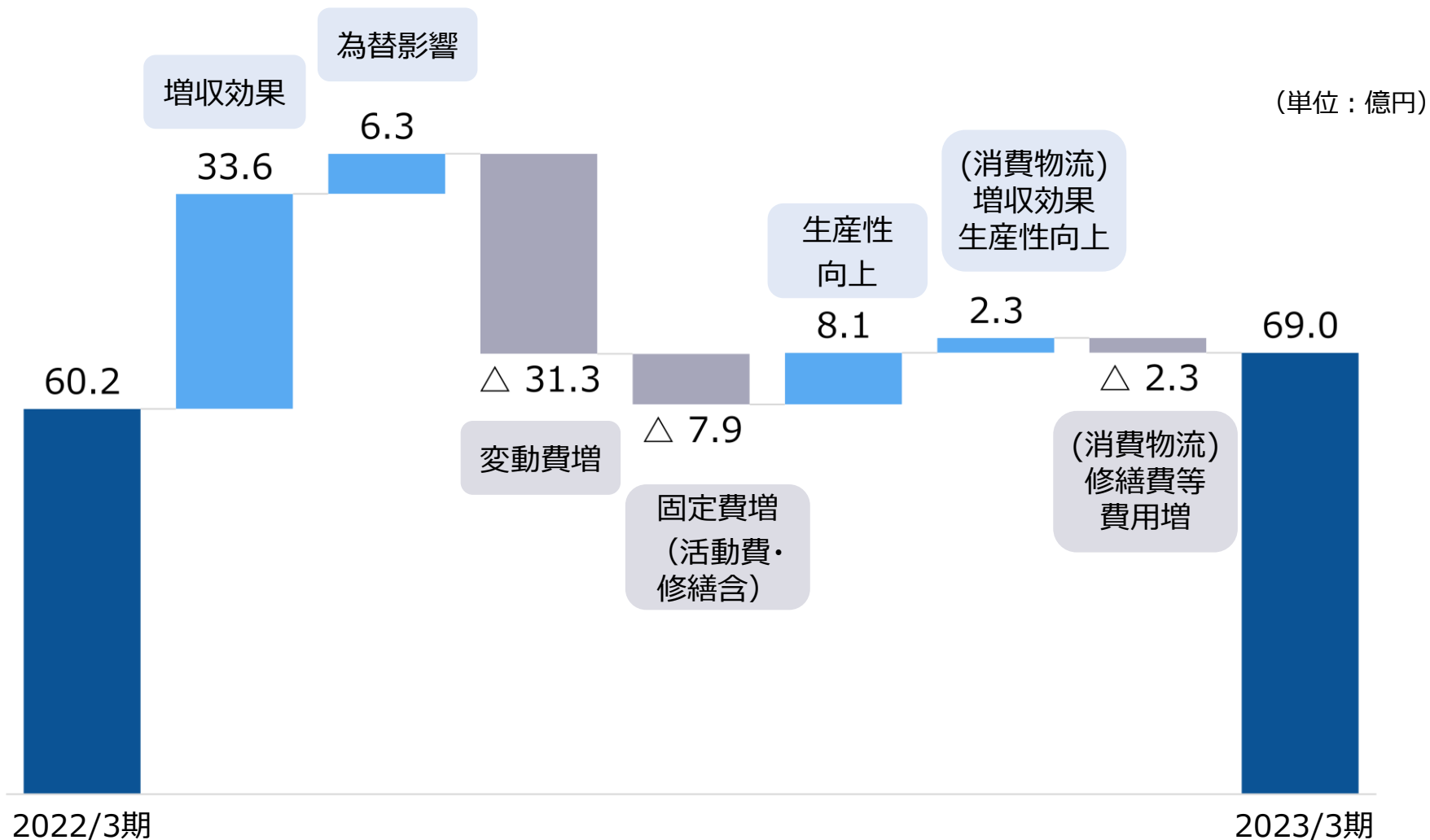
■ 消費物流 + 0.0 億円
修繕費等増加するが、拡販による増収効果と生産性向上などにより横ばい。

2022/3期

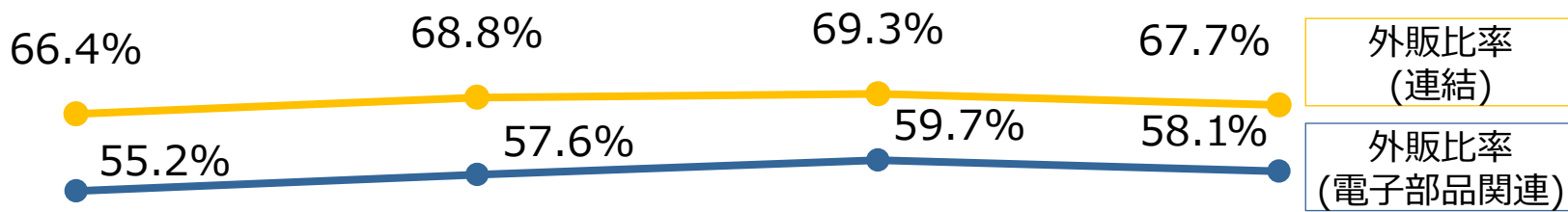
2023/3期見通し

※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です

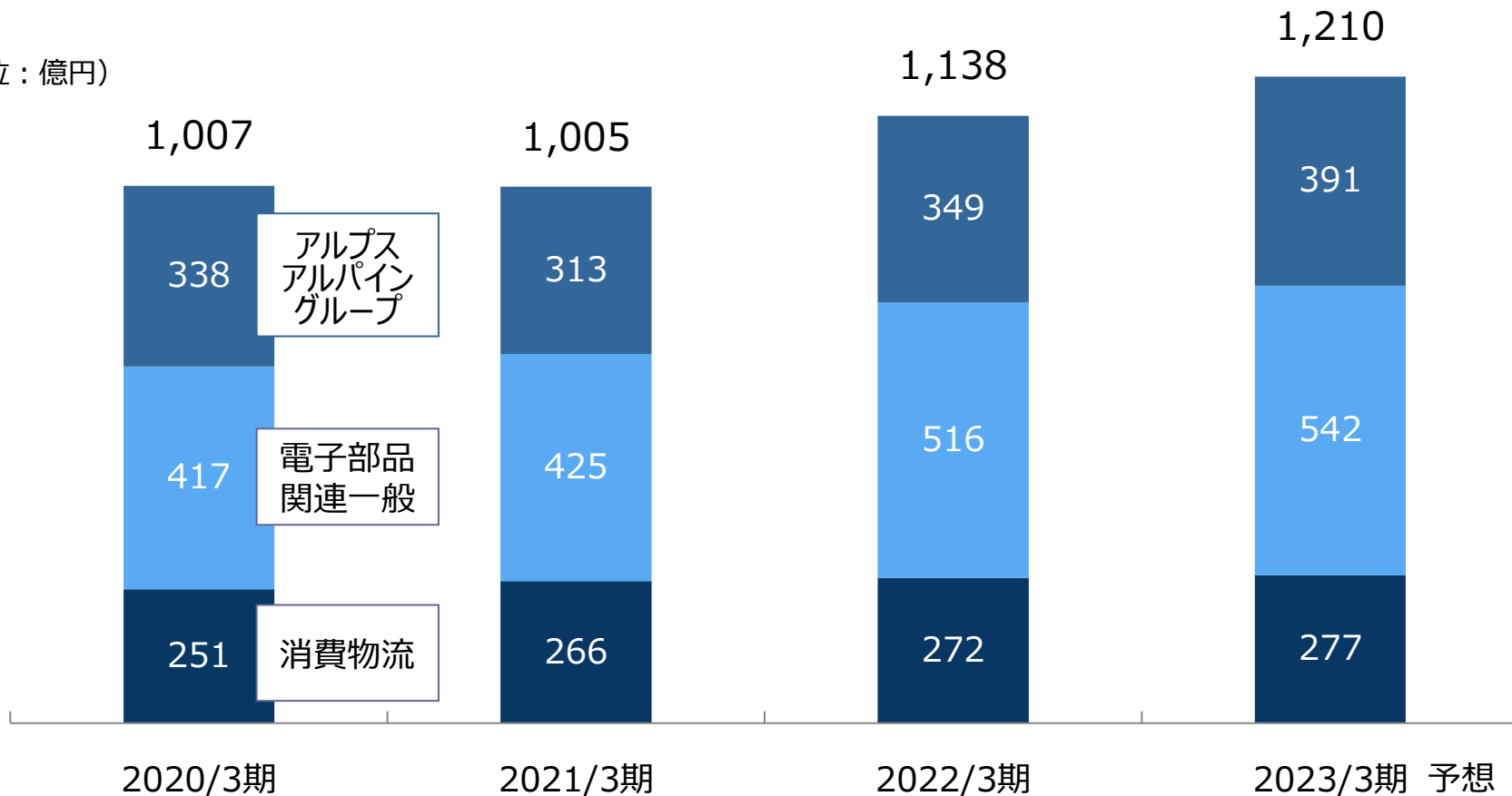
拡販や輸出入関連の増収効果と円安影響などにより増益



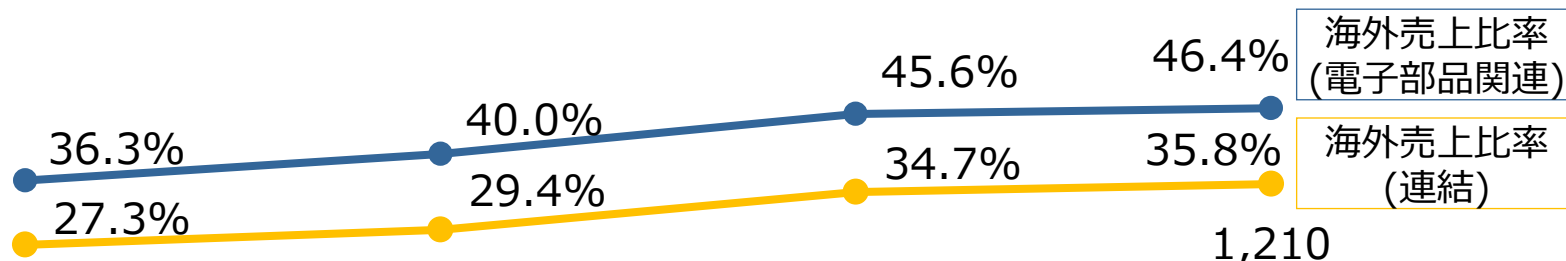
外販売上額は増加したが、比率は若干低下



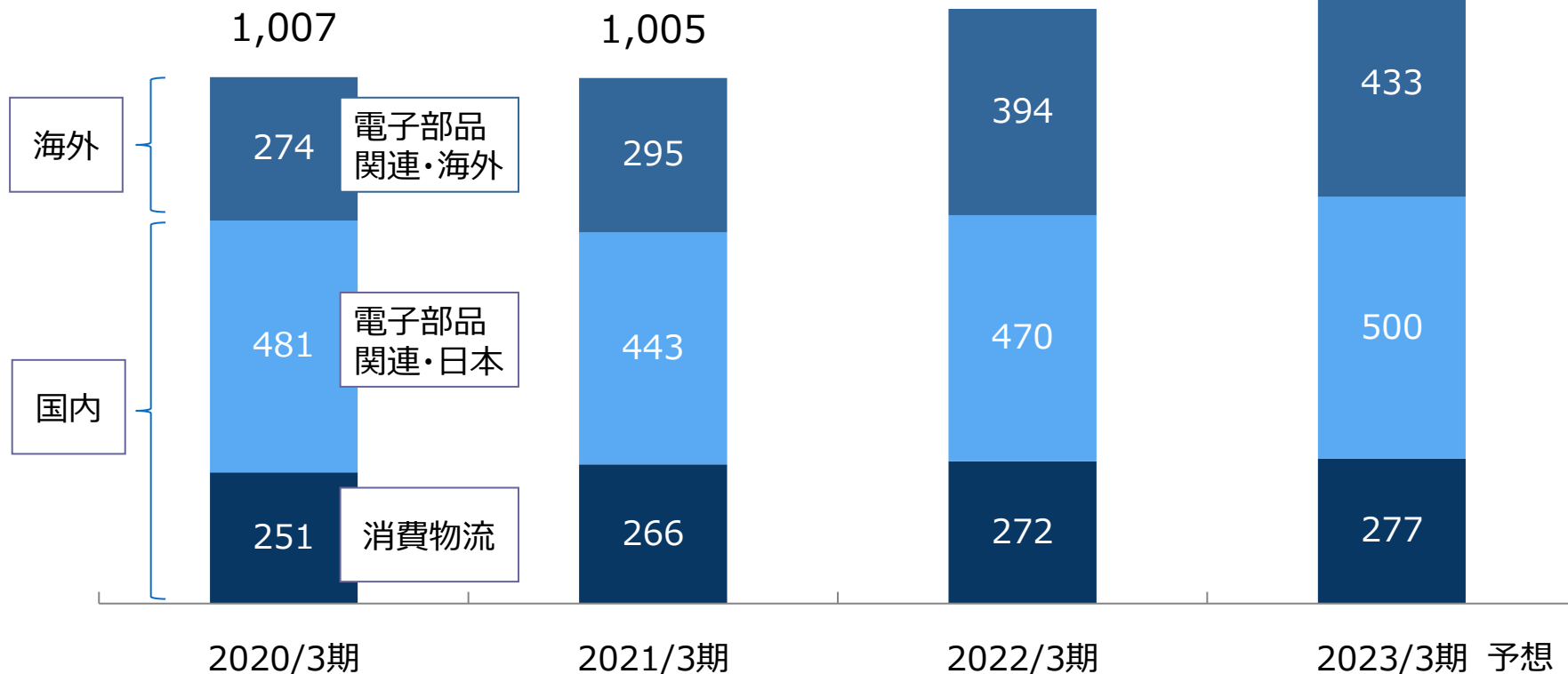
(単位：億円)



電子部品の輸出入関連増と円安で上昇



(単位：億円)



「戦略投資拡大」＝「拠点整備」＋「生産性向上」

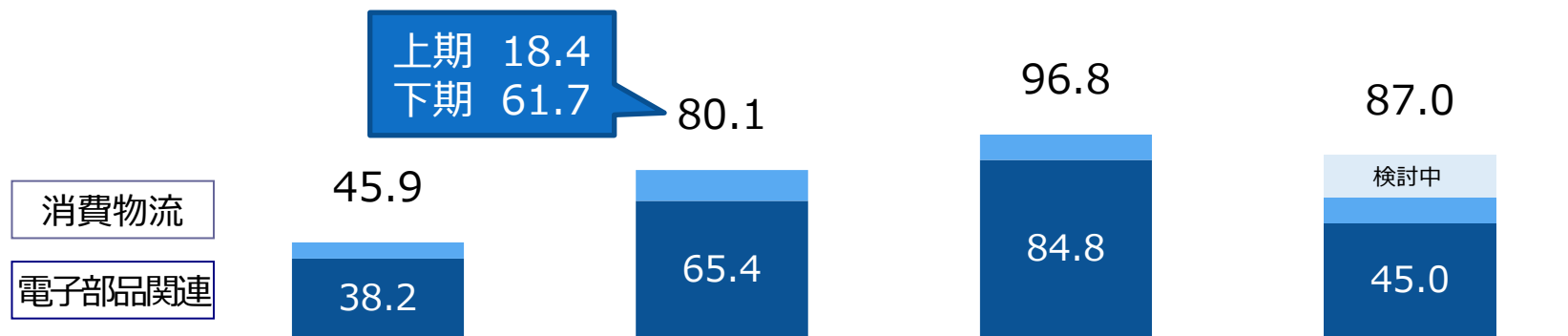
【倉庫賃借除く】

2022/3期

2023/3期
計画2024/3期
見通し2025/3期
見通し

(単位：億円)

第5次中期経営計画



【主案件】

横浜倉庫建設

加須2期棟建設

バンナ2期棟建設

名古屋倉庫建設

(検討中) 倉庫関連

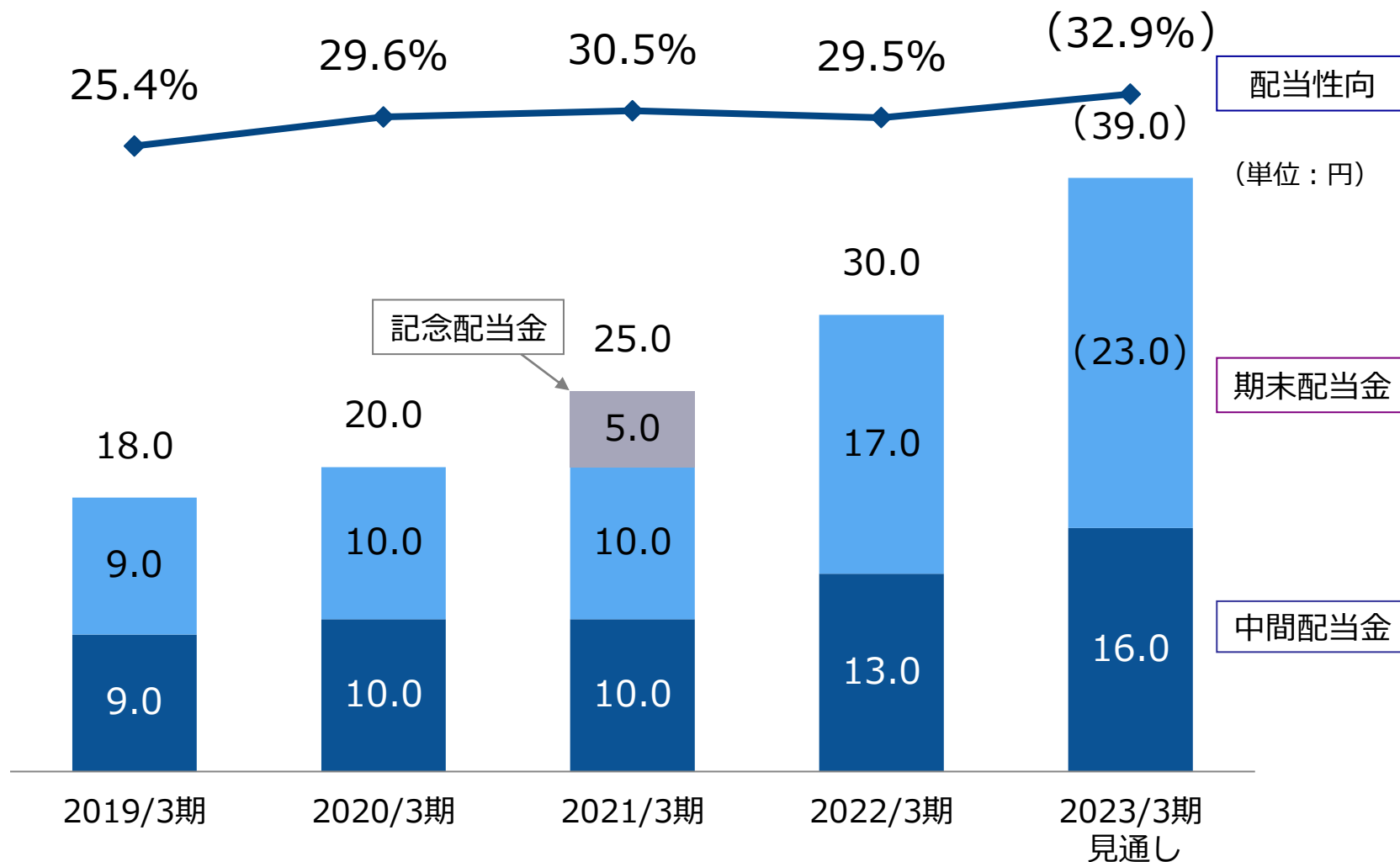
海外拠点の新設・整備など

環境関連設備・車両の導入

自動化設備

資本業務提携など

- 配当性向は概ね30%～40%範囲で株主還元の充実を目指す
- 大幅な円安による利益増、期末配当16円→23円に上方修正



1. 2023年3月期第2四半期決算の概要
2. 2023年3月期業績見通し
- 3. 2023年3月期第2四半期のトピックス**

主要拠点の保管能力の拡大

● 横浜に新倉庫を建築

2022年9月竣工、10月17日より稼働開始
倉庫面積：9,000m²
神奈川県横浜市（横浜営業所敷地内）
ベストな条件が揃った日は100%太陽光発電で
運営可能



横浜新倉庫

● 名古屋に新倉庫を建築

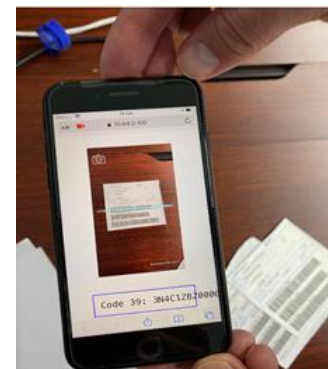
2023年2月着工予定
2024年1月竣工予定
倉庫面積：33,000m²
愛知県小牧市



名古屋新倉庫 完成予想図

● 画像認識入庫検収システム（特許出願中）

● 高度管理医療機器等販売業の許可取得



各国におけるロジスティクス事業の強化

● 各地で倉庫増床・拡大

倉庫面積約14,300㎡増

中国：天津、松江、武漢、太倉

韓国：烏山



中国・天津一般区倉庫



韓国・烏山倉庫

● 航空輸出事業強化のため フォワーディングの自営化推進



クアラルンプール空港事務所開設

● ISO取得推進

ISO9001(QMS)

上期に韓国・烏山倉庫取得、

下期にマレーシア/ベトナム/インドで取得予定
(海外26拠点で取得済み)

ISO14001(EMS)

上期に韓国・光州倉庫取得、タイ現法取得、

下期にマレーシア/ベトナムで取得予定
(海外9拠点で取得済み)

春日部・加須に新倉庫開設

● 春日部営業所

7月1日開設

倉庫面積：約10,000㎡

埼玉県春日部市

BtoCの物流センターとして稼働



● 加須豊野台営業所

10月1日開設

倉庫面積：約10,000㎡

埼玉県加須市

BtoBの物流センターとして稼働



当社の (株)流通サービス 持分比率を増加

電子部品物流と消費物流の相乗効果を高め、協業強化と機動的な経営体制を可能にすべく、10月に持分比率を71.4%⇒96.7%へ



E 環境

● CO2排出量削減

2t車のハイブリッド車の追加導入、貨物軽自動車の電気自動車への切り替え検討中

● 廃棄物削減

プラスチックフィルムのリサイクル推進

S 社会

● 女性活躍推進

女性管理職：1名、女性係長職：2022年3月5名⇒2022年10月9名

● 健康経営

健康経営優良法人認定に向け、取り組み加速（ヘルスリテラシー教育、特定保健指導など）

G ガバナンス

● サステイナブル調達

「責任ある調達方針」「パートナー会社行動ガイドライン」を策定

● コーポレートガバナンス・コードへの対応

Explainの3原則のうち、7月に2原則をComply。2023年7月Full Comply目指す

ご注意：

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。

実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は会計監査対象外となっています。